



地域と医療のコラボレーション

第7号

2006 / AUGUST

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

ハーモニー

Harmony ♪

特集

回復期リハビリテーション病棟開設

回復期リハビリテーション病棟とは2000年4月の診療報酬改訂により新設された病棟です。当院におきましては本年7月に開設いたしました。

一般的にリハビリテーションはリハビリ科へ入室した患者さまに対して理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が行ないます。このため療養生活の中で病棟看護職員とリハビリテーションスタッフの情報共有が十分に行なわれていないと、病棟とリハビリ室での患者さまの活動能力に差が見られてしまうことがあります。この差をなくすために情報の共有、連携を強化し、患者さまの療養生活を援助する病棟が回復期リハビリテーション病棟です。

当院では今までもカンファレンス(意見交換)、ミーティング(話し合い)、診療録の一元化を行い情報の共有、連携に努めて参りました。しかし、今回新設された回復期リハビリテーション病棟では医師、看護職員以外に、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療相談員が配置され、患者さまの自立に向けた生活の援助をします。従って、「回復期リハビリテーション病棟」は今まで以上に情報の共有、連携が強化され合理的、集中的にリハビリテーションが行われるようになります。早期に在宅復帰が可能となります。

現在、当院リハビリテーション科は理学療法士17名、作業療法士6名、言語聴覚士2名のスタッフで活動しています。私たちは患者さまのことを常に考えながら業務に当たっています。

我々担当スタッフ一同も、急性期から在宅への橋渡し役ができるよう「あなたらしい生活を応援します」を合言葉に業務に励んで参ります。



リハビリテーション科
係長 小山 裕司

当病棟での入院対象となる患者さま

- 1、脳血管疾患、頭部外傷、くも膜下出血の手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎等の発症又は手術後2ヶ月以内の状態
- 2、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症又は手術後2ヶ月以内の状態
- 3、外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後2ヶ月以内の状態
- 4、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節神経、筋又は靭帯損傷後1ヶ月以内の状態

まずはお気軽にご相談ください♪

TEL 048-684-7111 (代表)

担当：医療相談室

診療科だより

形成外科

形成外科は

外科系診療科の

1 専門分野です



整形・形成外科 部長
大谷 和雄

整形外科と形成外科との 意味合いの違い

形成外科は身体外表に現れた欠損・変形・醜状しゅうじょうなど
に対して、より形態的改善を重要視して治療する外科
です。一方、整形外科は筋肉・骨関節・神経の障害に
対してより機能的改善を重要視して治療する外科と言
えます。

形成外科で扱う主な疾患は顔面外傷（骨折、軟部組
織損傷）、手の外科、先天異常（耳、口唇など）瘰癧（き
ずあと）欠損の再建（乳房、褥瘡）熱傷、熱傷潰瘍、
良性腫瘍、あざなどがあります。

創縫合法（そうほうこうほう）

きれいに治すために真皮縫合という技術を使いま
す。単に細い糸で細かく縫えばよいというものでは
ありません。

皮下縫合（筋膜、脂肪層）の後、皮膚の真皮層を
吸収性の糸で縫合し、合わせます。この時点で表皮
はびったりと合っていることが肝心です。

最後に表皮を縫合します。真皮縫合してあるので
抜糸も早めに行えますが、術後のケアも大切なので
形成外科医師にご相談ください。



① 交通事故により右頬部に挫創、
筋肉に達する創



② 筋肉・皮下縫合の後、真皮縫合
（埋没縫合）でほとんどを合わせる



③ 真皮縫合の上、さらに表皮縫合し
微細なズレを調整



④ 縫合後1年4ヶ月

切断指再接着術（せつだんしがいせいちゅうじゅつ）

不幸にして電気のコギリなどで指を完全切断して
しまう患者さまがいます。かつては残った部分を丸
めて縫合していましたが、血管吻合技術の進歩により
生着が可能になりました。

断端部の挫減組織を切除し、骨の固定、腱の縫合
を行い指の全体的な形態を復元します。これだけで
は生着しないので、手術用顕微鏡を用いて血管（動脈、
静脈）と神経を順次縫合します。これらの神経血管
は直径0.5mmから1mmと極めて細いため顕微
鏡下、特殊なピンセットと縫合糸で縫合します。こ
のような微小血管外科のデリケートな手術操作によ
り、元来の指機能と形態が再獲得できます。



電気のコギリで左母指完全切断



緊急手術にて骨・腱縫合の後、
顕微鏡下に血管・神経縫合



術後3ヶ月

肥満

肥満とは、体脂肪が身体に過剰に蓄積された状態のこと。肥満は体重や見た目ではなく身体の中の脂肪の割合で決まります。体脂肪は身体の中で大切な働きをしているので、多すぎても少なすぎても問題があり、適当量が必要です。

メタボリックシンドロームとは？

生活習慣からくる内臓脂肪型肥満と、他の症状を合わせ持つ状態を言い、急速に動脈硬化が進行することも分かっています。病氣と診断されるほどではありませんが、血中脂質・血圧・血糖値の数値が高めの人、はまずウエスト周囲を測ってみてください。

改善・予防のポイント

「食べすぎ」ない
適度な運動をしましょう
生活リズムを乱さない

明日からとは言わず、今日から生活習慣病のために始めてみませんか？

メタボリックシンドロームの診断基準

ウエスト
男性は 85cm 以上
女性は 90cm 以上

+

下記のうち2つ以上に該当したら要注意！

- ① HDL コレステロール値 40mg/dl 未満
または中性脂肪値 150mg/dl 以上
- ② 最大（収縮期）血圧 130mmHg 以上
または最小（拡張期）血圧 85mmHg 以上
- ③ 空腹時血糖値 110mg/dl 以上

AED設置のお知らせ

AED(自動除細動器)を院内2ヶ所に設置しました

医師や救命救急士以外の人でも操作ができるAEDは学校、職場、駅等たくさんの方が集まる公共の施設など様々な場所に設置され、AEDを使うことで、突然死を防ぐことができます。当院では1階 処置室、本館2階 透析室に設置しました。それに伴い、救急委員会主催による職員のAED講習会を開催しました。



AED(自動除細動器)とは電気ショックが必要な心臓の状態を判断できる心臓電気ショックの器械です。

JICA国際交流活動

当院の職員が参加した院外活動レポートです



JICAとは
(独立行政法人国際協力機構、Japan International Cooperation Agency)の略で
日本国政府の発展途上国に対する政府開発援助(ODA)の実施機関です。

7月にJICA青年招聘事業の一環として、山中湖村で行われた2日間のアフリカ仏語圏公衆衛生グループ合宿セミナーへ参加しました。初日は聞き慣れないフランス語に戸惑いながらも、スポーツやパーティーなどで交流を深めることができました。2日目はグループディスカッションとして「文化と医療」というテーマのもと、日本の病院視察を通じての感想や、アフリカ医療の現状について意見交換を行いました。印象的だったのは、彼らが日本の子供の少なさに大変驚いていたこと。「少子高齢化」はアフリカの国々では考えられない現象で、平均寿命は55歳、80歳以上の高齢者は極稀だそうです。今回の研修を通じ、途上国医療や文化など、今までは考える機会が少なかった分野において、大変貴重な体験をすることができました。(リハビリテーション科：斉藤)

訪問介護

ホームヘルパーがご自宅まで訪問し、介護や家事援助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

- 身体介護：食事の介助 / 入浴・更衣の介助 / 身体清潔 / 排泄の介助やおむつ交換 / 体位交換の介助 / 通院・外出の介助
- 家事援助：掃除や整理整頓 / 洗濯 / 買い物 / 布団干し / 食事調理・配膳・片付け など

お問い合わせは・・・

東大宮ヘルパーステーション

☎ 048-688-5025 (直通)

訪問看護

看護師がご自宅まで訪問し、療養上の世話（看護）や診療の補助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

健康状態の観察と助言 / 清拭、洗髪や入浴の介助 / 褥瘡などの処置 / 療養環境の整備 / 留置カテーテル、各種医療機器の管理と指導 / 介護者の健康管理と精神的支援 / かかりつけ医の指示による処置・検査 など

◆理学療法士による、訪問リハビリも行っております

お問い合わせは・・・

東大宮訪問看護ステーション

☎ 048-688-8388 (直通)

医療相談

病気やけがをすると、健康なときには考えなかった不安や心配事、患者さまやご家族の経済的・社会的な問題が起こってきます。そんなとき、当相談室をご利用ください。

たとえば・・・

- 療養のための施設入所を希望している
- 健康保険、年金、各種手当ての内容や手続きについて知りたい
- 退院後の生活、職場復帰が不安
- 病気や治療に対して不安や恐れがあり治療に専念できない
- 治療費や通院費が高額なので心配・・・など

お問い合わせは・・・

東大宮総合病院

☎ 048-684-7111 (代表)

医療相談室

当院の 数字アラカルト

外来患者数	768.5人/日
入院患者数	266.3人/日
在院日数	16.7日
ベッド稼働率	84.1%
紹介率	20.6%
救急件数	243.7件/月
訪問看護	579.0件/月
訪問介護	804.0件/月
訪問リハビリ	207.3件/月

(平成18年4~6月平均)

1泊人間ドックに関する実施施設 認定取得



生活習慣病やメタボリックシンドロームなどの予防に注目が集まるようになり、人間ドック受診者数も増加の一途をたどっております。

今年の4月より全日本病院協会と健康保険組合連合会は健診事業の質向上を図るために、新たに「1泊人間ドックに関する実施施設」の認定を開始しました。当院も申請し、認定を取得しました。

ドックや健診を担当する健康管理課スタッフの気持ちも新たにサービスを提供しております。これを機に、受診をしてみたいはかがですか？
スタッフ一同お待ちしております。

編集後記

今年の梅雨前線による集中豪雨で、本州および九州に大変な被害がありました。被害者の皆さまにお見舞い申し上げます。

これからの残暑で体調を崩しがちになりますので、自己管理をしっかりしていきましょう。

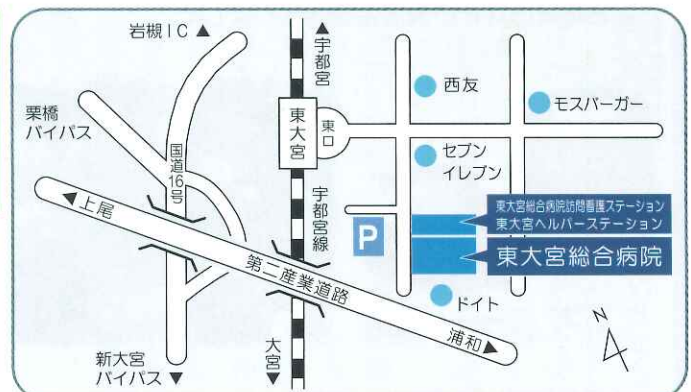
医療法人社団協友会



東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分